

「表現Ⅲ」におけるオペレッタの取り組みとその意義

久世 安俊

The measure and its meaning of the operetta in "the expression Ⅲ"

Yasutoshi Kuse

Abstract

At this department of study childcare, operetta is tackled by the subject name of "the expression Ⅲ". As for this operetta activity, which was practical, and it carried out and investigated the questionnaire for the graduate who took a lecture on whether it is that effective.

Since a future measure will become fruitful, I thought that he would like to reexamine only the state of an old lesson, and the meaning which does operetta.

Key words : expression, operetta

はじめに

本学保育科では学生生活の集大成として、2月初旬に「総合発表会」をイイヅカコスモスコモンで行っている。毎回、来場者も多く、特にメインとなる2年生によるオペレッタの発表は、親類、友人、近隣の保育園・幼稚園、また地域の方々にも一目を置いて頂ける程、定着した活動になってきているといえるであろう。

このオペレッタは「表現Ⅲ」という科目で取り組む内容である。演じることは勿論のこと、台本、道具、衣装などすべてのセクションにおいて、学生たち自身でアイデアを出し合い作り上げていく。そこには意見の衝突が生まれたり、そのことにより仲間関係がもつれたり、一筋縄ではいかないのが常である。その立ちはだかるいくつもの壁を乗り越えてきた本番は、とても真摯で温かく、説得力を感じさせてくれる。やりきった学生の涙は実に感慨深いものである。このような経験は必ずや学生たちの心に跡を残し、何らかの糧になっているものと考えられる。そこで本稿では、「表現Ⅲ」を受講した卒業生へ焦点を絞りアンケートを実施し、オペレッタへの取り組みから得たものについて、また、この経験がどう現場で活かされるものなのかを調査し、今後の活動の発展について検討していきたいと考える。

I. 「表現Ⅲ」の取り組み・現状

1. オペレッタ発表までの流れ

前期終了前に演目を発表し、その楽譜・台本を学生に配布する。後期初回の授業において、各クラス2グループ（計4グループ）を作り、約1ヶ月をかけ、グループごとにその演目を作り上げ上演してもらおう。つまり、ひとつの作品で4種類の演奏・演出を観ることとなる。このグループ発表をオーディションとし、投票、話し合いを行い、本公演の配役を決定していく。もっとも時間がかかり、神経を使う場面である。ドラマの配役以外のセクションとして以下を設けている。

	仕事内容
統括	リーダー、練習計画作成 など
演出	台本添削、演出、照明プラン、舞台との打合せ など
道具	大道具デザイン、作成
衣裳	衣裳デザイン、作成
情宣	チラシ作成、ポスター作成、配布
パンフレット	パンフレットデザイン、作成

当然、授業の枠だけでは時間的に足りないので、放課後練習、土日の練習と学生たちで計画を立て取り組むこととなる。前日のホールリハーサル、当日午前中の通し稽古を経て発表となる。当日、本番前の通し稽古については、近隣の保育園、幼稚園にも声をかけ、観劇してもらえような配慮を取っている。

2. 留意点

(1) 演目について

まず「表現Ⅲ」は2年次の後期に開講される。実習、就職活動、ゼミの発表と学生にとって重要かつ多忙な期間であることや、学生の力量も踏まえ、オリジナルでの作曲は厳しいと言える。また、発表の場となる総合発表会は二部構成になっており、前半に1年生を主とした音楽会を約60分、続いて2年生によるオペレッタの発表を約45分といったプログラミングを取っている。45分間スケールの選曲を学生に委ねる事も厳しい面があるため、あらかじめ演目についてはこちらで準備を行っている。物語も重要であるが、書かれている音楽が耳なじみの良いものであることをポイントにしている。歌唱能力の向上を願ってのことであるが、これまでの選曲が、全て学生に納得いく内容であったかどうかは疑問である。

(2) オーディションについて

最初から配役やセクションを振り分ける方法を取らず、なぜ各グループの発表を観るという方法を取っているかということだが、まずその作品の流れや書かれた音楽を全員が周知できる

というところにある。例えば、舞台上で演じることをせず、道具作成のみでいいという学生がいたとすると、ドラマをよく理解したうえで作成ならば問題ないと思うのだが、頼まれたものだけを作るだけで、実際どのようなシーンで使われて、どんな音楽が流れているという全体像を知らないままで終わってしまうのではないかとすることを危惧するからである。もう一点、四種四様の演出ができることで、アイデアの好いとこ取りができるという点である。ダンスの振り付けは勿論のこと、ある事象を道具を使って見せるのか、台詞でイメージさせるのかなどといった、多くの表現方法に出会えるからである。ひとつの役においても同じ事が言える。

ただし残念なことに、私が携わった全てにおいて、オーディションの段階で燃え尽きてしまうというパターンがほとんどであったように思う。本公演メンバーが決まってからは、オーディション時の勢いはなくなり、なかなか進歩が見えてこないのは事実である。

Ⅱ. 卒業生へのアンケート

1. 対象

平成 20 年度（平成 21 年 3 月卒業）卒業生～平成 22 年度（平成 23 年 3 月卒業）卒業生、計 158 名に郵送でアンケートを依頼。うち 41 名の回収であった。

2. 方法

無記名によるアンケートを実施。（実施日：平成 23 年 10 月）

3. 項目

- (1) オペレッタの発表についての評価。
- (2) グループ別発表・オーディションの形態について。
- (3) オペレッタを経験して得たこと。
- (4) オペレッタの経験が現場でどのように活かされているか。

Ⅲ. 結果と考察

回答をもらった卒業生 41 名の内訳は、保育士 25 名、幼稚園教諭 7 名、学童 1 名、その他 8 名。

(1) オペレッタの発表についての評価。

	満足	どちらかといえば 満足	どちらかといえば 不満	不満
保育園	15	8	2	0
幼稚園	4	3	0	0
学童	1	0	0	0
その他	4	3	0	1
	24 (58.5%)	14 (34.1%)	2 (4.9%)	1 (2.4%)

単位：名（％：小数点第 2 位を四捨五入）

(1) - 1. 「満足・どちらかといえば満足」と答えた理由（複数回答可能）

		気に入る演目	気に入る役	良い仲間関係	お客様の反応	その他
保育園	23	11	8	15	6	7
幼稚園	7	2	4	6	3	2
学 童	1	1	0	0	0	1
その他	7	1	0	0	0	1
	38	15 (39.5%)	12 (31.6%)	21 (55.3%)	9 (23.7%)	11 (28.9%)

単位：名（％：小数点第2位を四捨五入）

9割以上がオペレッタの発表について満足感を感じてくれている。その理由としては、仲間関係が重点を占めているようで、その他の理由でも「絆が深まった」「コミュニケーションを考えるいい機会だった」といった、人と人との関わりについての内容で回答が挙げられている。同様に、不満と感じた者は仲間関係がうまくいかなかったことを理由として挙げている。

また、演目については4割が気に入る内容であったとしている。ここでも不満理由として、「あらかじめ決まっていた為、やりたい内容ではなかった」と仲間関係と同様に対照的な感想が挙げられている。

このことから、取り組む作品の魅力以前に、活動していく過程での人間関係が大きく左右していくといえるであろう。

(2) グループ別発表・オーディションの形態について。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	どちらともいえない
保育園	12	4	7	2	0
幼稚園	0	3	3	1	0
学 童	0	0	1	0	0
その他	3	2	1	1	1
	15 (36.6%)	9 (22.0%)	12 (29.3%)	4 (9.8%)	1 (2.4%)

単位：名（％：小数点第2位を四捨五入）

(2) - 1. 「満足・どちらかといえば満足」と答えた理由 (要約)

- : 他のグループを観ることで参考になる。
- : それぞれの表現方法、台詞の言い回しなど、その違いを観ることで発展が出来た。
- : 演出のアイデアを伺える。
- : 同じ役でも、複数観れて参考になる。
- : 少人数で意見が把握しやすい。
- : 少人数で取り組むので、内容にしっかりと向き合える。
- : ライバル心が良い糧となる。
- : 他のグループのアイデアを取り入れることが出来る。
- : グループ単位であることが、ひとりひとりのやる気につながる。
- : 最初から振り分けると、人任せになってしまうから。
- : 違いが面白い。自分たちで選んだのだから、一緒に頑張ろうという気になれる。
- : モチベーションが上がる。他のチームに無いものをと一生懸命に考えた。

(2) - 2. 「どちらかといえば不満足・不満足」と答えた理由 (要約)

- : 仲間関係はよくなり、楽しかったけれど、その段階で燃え尽きてしまう。
- : 純粹にその役を狙った形でのオーディションを行った方が効率が良い気がした。
- : 最終的にはみんなでやるのが分かっているので、真剣に取り組めなかった。
- : オーディションへの練習期間を取りすぎている。グループ発表で満足。
- : 時間の大半をグループ発表につき込むので、本番に向けての時間が足りなく感じた。
- : グループ発表に力が入り、後はやる気が減少する。
- : 落選した人たちの配役がむずかしい。
- : 自分たちのグループに愛着。あれこれ考えているうちに、何がしたいのか分からなくなってくる。
- : グループ発表でのピアノ担当になると、本番での配役が脇役になるから。
- : 意味がないように感じる。
- : 自分の意見を言っても理解してもらえない。男子の意見は通らない。

着目は4割近くが好ましく思っていないというところである。実はI-2-(2)でも述べたように、グループでの発表がピークになってしまい、その段階で燃え尽きてしまうという状況が如実であった。そのため、もっと多くの割合で不満が出てくるのではないかと考えていた。挙げられた理由から、表現方法の多面性を伺える場としてのグループ発表は利点を感じているが、それとオーディションをリンクさせているところに、不満要素が挙げられているのだと考える。また、落選したメンバーへの配慮や意見を言っても理解してもらえないなど、このこと

も対人関係の要素が含まれているように捉えることができる。

具体的な意見として、グループでの解釈に時間をかけるべきという筆者の考えに対して、時間のかけすぎという指摘、また、グループ別を廃止し、初めから役を目指したオーディションの形態をとるべきという検討事項も挙げられている。

(3) オペレッタを経験して得たこと。

選択項目

- ①. 考えを伝える能力がついた ②. 発想力がついた ③. 度胸がついた
 ④. コミュニケーションがうまくとれる ⑤. 歌がうまく歌える
 ⑥. 声が大きくなった ⑦. パントマイムがうまくなった ⑧. その他

(複数回答可能)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
保育園	10	12	15	8	3	5	0	6
幼稚園	0	2	3	0	1	2	0	1
学 童	0	0	0	4	0	0	0	1
その他	4	4	3	3	0	0	0	4
	14 (31.4%)	18 (43.9%)	21 (51.2%)	15 (36.6%)	4 (9.8%)	7 (17.1%)	0 (0%)	12 (29.3%)

単位：名（％：小数点第2位を四捨五入）

「⑧. その他」の回答（要約）

- ：人見知りがなおった。
- ：自分の考えを伝えられるようになった。
- ：友だちや、周囲の人の気持ちの変化など気付けるようになった。
- ：自分の意見を言えるようになった。
- ：状況に合わせて何度も考え直すことの大切さを知った。
- ：オペレッタの経験を思い出せば、なんでも乗り越えられると思う。
- ：団結力のすごさ。
- ：思いやりが持てるようになった。達成感が忘れられない。
- ：仲間意識が芽生えた。仲間が増えた。
- ：一つの物事を完成させる楽しさ、全員で息を合わせることの難しさを体験できた。

ここでも度胸や思いやり、団結力といった対人に関する意見が目立っている。思ったほど伝達能力、発想力での割合が多くなかった。また歌唱能力を考慮した選曲を行っているのだが、「⑤歌がうまく歌える」の選択が少なかったのは残念な結果である。こちらが意図する技術の

面での上達という考えは持っていないことが考えられる。このことも今後の検討すべき課題として考慮しないとイケない。

(4) オペレッタの経験が現場でどのように活かされているか。

保育園勤務（要約）

- ：運動会でのダンスの指導をする。
- ：大きな声が出るようになった。
- ：お遊戯会での音楽の選曲、振り付けのアイデアを出す。
- ：身振り、振り付けなど自然に大きく出来ていると思う。
- ：誕生日会での出し物を考える。
- ：自分自身が関わっているのではないが、年長児での発表会担当の先生方がオペレッタの経験が無く悩まれていた。わたしがアイデアを参考までに出したりした。経験している、経験していないの差は大きいのではないか。
- ：衣裳のアイデアを出す。
- ：度胸がついた。
- ：見ている側のことを考えるようになった。
- ：生活発声会という劇・踊り・歌等の内容を取り入れていないので活かされていない。
- ：指導の立場にはなっていないのでよくわからないが、表現力、達成感を子どもたちにも伝えたいし、体験させたい気持ちが強い。
- ：最後まであきらめない力、どのような動きが見えやすく、分かり易いか考えるときに活かされていると思う。

幼稚園勤務（要約）

- ：まだよくわからない
- ：以前より人前で話すことができるようになった。
- ：音楽会、劇の発表などアイデアが浮かびやすく感じる。
- ：子どもの前で見せること、伝えることの意識が身に付いた。

学童勤務

- ：本の読み聞かせが好評である。

その他（要約）

- ：今の仕事には活かされていない。
- ：どう活かされているかは分からないが自慢である。
- ：大勢の人前で話すことが出来るようになった。
- ：衣装作りの経験が、職場での行事で必要なものを作る時に活かされていると思う。
- ：どうすれば伝わるのか考える。協力して何かをやり遂げること。
- ：何も活かされていない。

作り上げていくうえで常に注意させてきたことが、「見られている」スタンスを忘れないということである。自分自身の思いを一方的に伝えることも大事ではあるが、相手にどのように受け取られるか、見ているのかを考える必要があると思うのである。その考えがどの程度浸透したかは定かではないが、各々、現場での行事や企画において、アイデアを出したり、携わったり、と活用できていると捉えてよいのではないだろうか。

IV. おわりにー今後の課題

今回これまでのオペレッタの取り組みについて、卒業生へのアンケートを実施した。質問内容としては対人関係や感情論が主になってしまうような質問に偏ってしまった感があるが、まずはオペレッタ活動の必要性について確信が持てたといえるであろう。いくつもの苦労があるとはいえ、一つの作品を作り上げていく過程で養われる協調性と周囲への感謝の思い、また発表後の達成感、必ずや何らかの自信を根付かせてくれているものなのである。その影響が伺える回答内容であったと言えるのではないだろうか。まさに総合芸術といえるオペレッタの素晴らしさであろう。

アンケートの最後に忌憚のない意見を求めたところ貴重な回答もいただいた。それも含め、オペレッタを更に充実あるものとしていくための今後の検討課題を発見できた。まずはこれまでのスタイルの見直しを図ることである。オーディション、演目の選択など学生のテンションを保たせる方向付けが必要となってくる。他の養成校におけるオペレッタや創作劇への取り組みを調査することもそのひとつの手段であると考え。もうひとつ、オペレッタを媒体として学生に伝えることのできる表現技能の具体性と、現場で子どもたちが自分の感情や考えを他者に伝えることのできる能力をどう引き出せるのか、という方法論の調査・研究も大きな課題であるといえる。

[資料]

アンケート用紙（無記名で結構です）

1. 性別を教えてください。

女性 男性

2. ご職業をお答えください。

保育士（ 年目） 幼稚園教諭（ 年目） その他

3. オペレッタの発表についてはどのような評価でしょうか？

満足 どちらかといえば満足 どちらかといえば不満足 不満足

3-1. 「満足・どちらかといえば満足」と答えられた方は、その理由を以下より
お答えください。（複数回答可）

演目が気に入る内容であった 自分が受け持った役（仕事）が楽しかった
仲間関係が深まった お客様の反響がよかった
その他

3-2. 「どちらかといえば不満足・不満足」と答えられた方は、その理由を以下より
お答えください。（複数回答可）

演目が気に入る内容ではなかった 自分が受け持つ役（仕事）が気に入らなかった
仲間関係がうまくいかなかった お客様の反応がよくなかった
その他

4. グループ別の発表（オーディション）の形態についてはどのように思われますか？

満足 どちらかといえば満足 どちらかといえば不満足 不満足

4-1. 「満足・どちらかといえば満足」と答えられた方は、その理由を教えてください。

4-2. 「どちらかといえば不満足・不満足」と答えられた方は、その理由を教えてください。

5. オペレッタを経験してみて、あなたが得た事は何かあるでしょうか？

以下の内容よりお答えください。(複数回答可)

- 考えを伝える能力がついた 発想力がついた 度胸がついた
 コミュニケーションがうまくとれる 歌がうまく歌える 声が大きくなった
 パントマイムがうまくなった
 その他

6. 設問2で「保育士・幼稚園教諭」と答えられた現職の先生にお尋ねします。

オペレッタの経験はどのように現場で活かされているでしょうか？

7. 設問2で「その他」と答えられた方にお尋ねします。

オペレッタの経験はどのように現場で活かされているでしょうか？

8. 最後に、アンケートでは答えられなかったご意見、ご要望を遠慮なくお書きください。

ご協力ありがとうございました。